

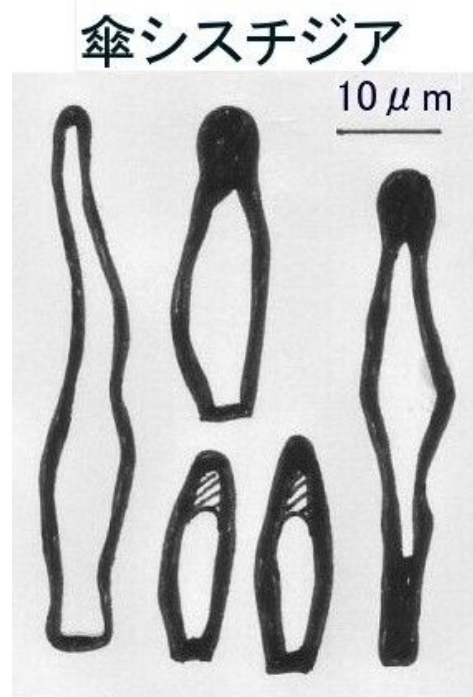
No. 0002

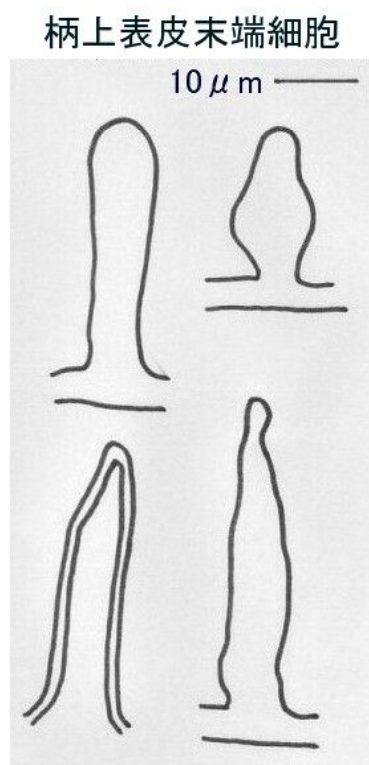
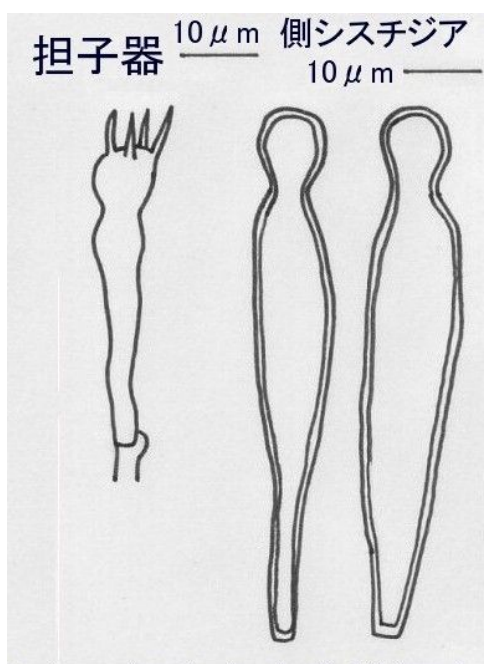
スギカワタケ (日本きのこ図版 No. 292)

Gloiocephala cryptomeriae Nagasawa (ad inter.)









- 傘は径 0.8-1.7cm, 饅頭型のち平開し, 中央は凹むものが多く, 全体的に凸凹しており, しわ状となり条線のように見える;表面は幼時白色であるが成長するにつれて中心から茶色を帯び, 傘が平開したものはほとんど淡茶色となる.
- 肉は傘と同色, はじめは白色であるが, 成長するにつれて茶色を帯び, 特別な味や匂いはない.
- 柄は0.4-1.3×0.1-0.2cm, 上下同径か下部は細く, 中心生~偏心生, 中実~中空;表面はやや微毛があり, 基部で茶褐色, 上部では淡くなり, ヒダの付け根では白いものが多い.
- ヒダは疎, 垂生, 幅 0.1-0.3cm, はじめは白いが成長するにつれて茶色を帯び, ときにしみがあり, 縁はやや波打ち, ときに脈連絡や分枝する.
- 胞子紋は白色.
- 胞子は楕円形~長楕円形~紡錘形, 大きさ 6.0-10.0×3.0-4.5 μm;表面は平滑, 無色, 非アミロイド.
- 担子器はやや屈曲した棍棒形, 大きさ 39×8 μm, 4孢子性, 基部にクランプがある.
- 縁シスチジアは確認できていない.
- 側シスチジアは散生し, 紡錘形で頂部は球状, 大きさ 70×8 μm, 表面はやや厚膜.
- 傘上表皮は子実層状で球状から洋梨型の細胞が直立する;菌糸の大きさは 20-37×11-15 μm, 表面はやや厚膜.
- 傘シスチジアは散生し, 紡錘形で頂部はときに球状, 大きさ 21-54×6-9 μm;表面は茶色で厚膜.
- 柄上表皮の末端細胞は円柱形~狭紡錘形~瓢箪型と変異があり, 大きさ 15-40×7-12 μm, 薄膜~厚膜.
- クランプはすべての菌糸にある.

2010/12/25

採集場所 神戸市北区山田町
採集環境 杉の切り株
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし